

株式会社 関西宇部グループ社長メッセージ

梅雨が明け、本格的な暑さが始まりました。7月9日、工務部の阿部部長から熱中症対策手順書のメールで注意喚起しています。喉が渇く前にこまめに水分と塩分を補給し、休息を含めた計画的な作業や管理をお願いします。上司から、あるいは、仲間同士で「顔色は大丈夫？」「水分を取った？」と声を掛け合い、安全な職場作りにつなげましょう。これからどんどん猛暑になっていく中、工場・現場・輸送の最前線で毎日毎日を頑張っている皆様には心から感謝申し上げます。

今回は社会のニュースを題材に我々も考えていきます。東京の小学校の音楽教師が音楽室付近にて学校の設備（洗濯機）を私用目的に使い、自分が持ち込んだ乾燥用ストーブから火事が発生して校舎が一部燃え、児童他にけが人が出た記事を見ました。責任追及や誰が悪いというだけでなく、今回のような案件の内容や被害程度は別にして、会社生活において、全く他人事とは言えない気がします。

では、これから得られる教訓を述べますと、

- ・「これくらいなら大丈夫」という思い込みをなくす。
小さな油断や慣れが大きな事故につながることもある。
- ・「ルールは自分や仲間を守るためにある」
面倒に感じてても、決められた手順やルールを守ることが事故防止の基本です。
- ・「公使の区別を大切にする」

会社の設備や備品は、本来の目的に沿って使用する事が安全管理にもつながる。私自身も今までの長い会社生活の中で、油断や慣れで「まあよいかな」と安易に考える時も正直何度かありました。ただ、その度に何とか「いやいや、そうではないよね。ひょっとしてこんな騒ぎになる事も想定されるよね。」と心の中で自問自答を繰り返して歯止めをかけてきた積りです。社員の皆様におかれても、特に、権限と責任が増える管理職以上の方は、日頃からきっちりされておられるとは信用しておりますが、あらためて、今回のお話も聞いていただけたらなと思いました。

2026.7.15

代表取締役 太田正彦